

次期市民検討会委員へ伝えたいこと（公共施設WG別紙）

実は長らく中断していました対面朗読（対面音訳）が、10月から（1年7カ月ぶりに）再開していただきました。本当に助かっていて、おかげさまで11月27日の「日本福祉教育・ボランティア学習学会」の第27回埼玉大会（オンライン開催）にて、無事に事例報告をすることができました。

改めて、“目の代り”としての図書館でのレファレンスを含むサービスと音訳者の存在、それにお部屋の支援が、こんなにも貴重な、かけがえのないことだと痛感、再確認できました。。。

幸いにも私は、往路だけでも今、自力で図書館入り口までは徒歩で通えていることも大きいですね。（館内は、TRCや職員スタッフの方々が交代でガイドしてくれ、対面終了後は、音訳者とご一緒に駅までたわいもない話をしながら交流→帰路に向かう。そんな何気ないひとときが、どんなに大切だったかを学ばせてもらいました。）

唯一私たちでは手に負えない問題は、図書館のエアコンが稼働しないことです！今日も午後に対面朗読ですが、まだ暖かい日なので助かりますが、先日の雨の水曜日の対面朗読では、換気で視聴覚室の窓を全開にし、エアコンなしでしたので、防寒していても、これまでになく、本当に寒かったです。

新装成る図書館・複合施設では、きっとエアコン設備と換気とがそれなりに両立できる設計をいただけると期待していますが、対面朗読ができる機会を必要としている人がいることを、ぜひ視野に入れていただけたら大変ありがたいです。今後も、図書館が持続可能に発展されますように願います。

一方で、課題点を書きますと、もし、野球場の中に図書館が建てられるとしたら、ちょっと遠くなって自力歩行には不便になってしまうのと、たとえ駅の近くに建てられたとしても、今の一部の交差点や公民館までのように、点字ブロックをカーブさせて敷設しなければならないので、迷ってしまい、危険なこともあります。屈曲した道路沿いに建てられるとなると、おそらく歩行が困難な方は、自力での来館は難しくなると予想します。

しかしながら、仮に公園内や公園沿いに建てられた場合でも、駅から歩道がほぼ直線コースで整備されて、点字ブロックもわかりやすくほぼまっすぐに敷設されれば（若しくはカーブせずに、垂直に建物玄関まで敷設できるところに新築いただければ）私でも、普段から歩行している高齢・障害当事者の方も、平坦ならば車いすユーザーの方も通えるようになると思います。負担の少ない運動・散歩を兼ねて、歩けるのもまた喜びでもあります。

長くなりましたが、こんな意見・期待をしている市民をいますよと、WGなどでご発言のチャンスがありましたら、ぜひ皆さまにお伝えいただけたらなお幸甚です。

明日は、有意義な会議となりますよう、心から祈念しております。